



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 川本産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3604 URL <https://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)福井 誠
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員経営企画室室長 (氏名)吉田 康晃 (TEL)06(6943)8951
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	15,568	29.3	796	—	830	872.2	673	966.9
2020年3月期第2四半期	12,045	1.4	47	—	85	—	63	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 707百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △6百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	116.29	—
2020年3月期第2四半期	10.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	16,453	4,632	27.9
2020年3月期	15,606	3,960	25.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,587百万円 2020年3月期 3,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	15.6	1,000	330.7	1,050	251.3	740	190.8	127.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	6,000,000株	2020年3月期	6,000,000株
2021年3月期2Q	204,440株	2020年3月期	204,440株
2021年3月期2Q	5,795,560株	2020年3月期2Q	5,795,634株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的に拡大している新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が制限され、企業収益や個人消費が急速に減速いたしました。緊急事態宣言の解除後も、新型コロナウイルス感染症の拡大は、依然、予断の許さない状況が続いております。景気の先行きについては、経済活動の再開により回復の兆しがみられるものの、依然として不透明な状況にあります。

当社グループが属する医療衛生材料業界は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、世界規模で感染防止・公衆衛生への意識が高まることとなり、国内では医療機関のみならず、商業施設や一般家庭においても感染防止に対する取り組みが行われました。結果、全国的にマスクや手指消毒剤をはじめとした感染管理製品の需要が高まりました。一方、当業界は政府による医療費適正化に向けた取り組みの流れの中にあり、衛生材料を含む医療消耗品は引き続き価格競争に晒され、厳しい事業環境が継続すると予想されます。加えて、育児用品の業界におきましては、2019年の国内出生数は90万人を下回り、4年連続で低下するなど、マーケットの縮小に直面しており、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況の下、当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大による感染管理製品の需要に対応するとともに、工場における生産性の改善や経費削減に取組み、利益率の改善に取り組んで参りました。特に感染管理製品については、販売への取組みのみならず、原料・資材を安定的に供給できる仕入先の確保や医療機関、商業施設や一般家庭の感染防止に貢献する製品開発に取り組んでおります。

この結果、売上高は15,568,715千円（前年同四半期比29.3%増）、営業利益は796,831千円（同1,570.3%増）、経常利益は830,563千円（同872.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は673,983千円（同966.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、2020年7月に組織変更を行ったため、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

(メディカル事業)

医療機関や介護施設等に対し、衛生材料、感染管理製品及び手術関連製品などを販売いたしました。その中でも、新型コロナウイルス感染症の影響により、マスクや手指消毒剤、医療機関等で使用する個人用防護具など、感染管理製品の売上が増加いたしました。また、2020年1月下旬より子会社である浙江川本衛生材料有限公司において、マスクの増産を行っており、同年6月までのマスクの増産および販売の影響が含まれております。加えて、前期第4四半期連結会計期間に子会社化した株式会社サカキL&Eワイズの売上高、経常利益が当第2四半期連結累計期間に含まれております。その結果、売上高は5,055,986千円（前年同四半期比36.6%増）、経常利益は585,833千円（同997.5%増）となりました。

(コンシューマ事業)

大手量販店、通信販売事業者及びドラッグストア等に対し、ベビー用品、感染管理製品、衛生材料及び介護用品等を販売いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響により、感染管理製品は幅広い顧客から需要が高まり、売上が増加しております。加えて、前第3四半期連結会計期間に事業譲受したニシキ株式会社の売上高、経常利益が当第2四半期連結累計期間に含まれております。その結果、売上高は10,512,729千円（前年同四半期比26.0%増）、経常利益は471,288千円（同89.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は16,453,633千円、自己資本は4,587,011千円で、自己資本比率は27.9%（前連結会計年度末は25.1%）となりました。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は16,453,633千円となり、前連結会計年度末に対して846,655千円増加いたしました。

流動資産は13,143,621千円で、前連結会計年度末に対して846,743千円増加いたしました。「受取手形及び売掛金」に「電子記録債権」を加えた売上債権が411,017千円増加、「商品及び製品」が394,657千円増加したことが主な要因です。

固定資産は3,310,011千円で、前連結会計年度末に対して87千円減少いたしました。「有形固定資産」が37,527千円の減少、「のれん」が21,303千円の減少、無形固定資産の「その他」が6,941千円減少した一方で、投資その他の資産の「その他」が65,560千円増加したことが主な要因です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は11,820,843千円となり、前連結会計年度末に対して174,259千円増加いたしました。

流動負債は7,829,215千円で、前連結会計年度末に対して359,096千円増加いたしました。「関係会社短期借入金」が100,000千円減少、「1年内返済予定の長期借入金」が154,032千円減少した一方で、「支払手形及び買掛金」が518,895千円増加、「未払法人税等」が102,330千円増加したことが主な要因です。

固定負債は3,991,627千円で、前連結会計年度末に対して184,836千円減少いたしました。「長期借入金」が192,854千円減少したことが主な要因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は4,632,790千円となり、前連結会計年度末に対して672,396千円増加いたしました。「利益剰余金」が639,210千円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年8月4日に公表いたしました、2021年3月期の通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2020年11月10日公表の「2021年3月期の通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

資料に記載されている業績予想に関する記述につきましては、当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績につきましては、当社グループの事業を取り巻く様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,226,671	1,040,905
受取手形及び売掛金	4,672,754	4,503,403
電子記録債権	3,715,003	4,295,371
有価証券	—	154,051
商品及び製品	1,508,045	1,902,703
仕掛品	276,725	257,944
原材料及び貯蔵品	144,800	181,104
その他	766,389	821,962
貸倒引当金	△13,511	△13,825
流動資産合計	12,296,878	13,143,621
固定資産		
有形固定資産	1,649,370	1,611,842
無形固定資産		
のれん	290,610	269,306
その他	246,320	239,379
無形固定資産合計	536,931	508,686
投資その他の資産		
その他	1,150,953	1,216,513
貸倒引当金	△27,155	△27,030
投資その他の資産合計	1,123,797	1,189,482
固定資産合計	3,310,099	3,310,011
資産合計	15,606,977	16,453,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,556,516	4,075,412
短期借入金	1,005,000	1,000,000
関係会社短期借入金	1,300,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	584,620	430,588
未払法人税等	41,426	143,756
賞与引当金	148,683	174,280
売上割戻引当金	207,059	155,675
その他	626,813	649,503
流動負債合計	7,470,119	7,829,215
固定負債		
長期借入金	3,360,597	3,167,743
退職給付に係る負債	528,447	513,060
役員退職慰労引当金	166,230	170,032
資産除去債務	30,649	29,533
その他	90,539	111,256
固定負債合計	4,176,464	3,991,627
負債合計	11,646,583	11,820,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,148,407	1,148,407
利益剰余金	1,582,857	2,222,067
自己株式	△74,408	△74,408
株主資本合計	3,539,856	4,179,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250,980	315,992
為替換算調整勘定	△63,175	△94,462
退職給付に係る調整累計額	191,159	186,416
その他の包括利益累計額合計	378,964	407,945
非支配株主持分	41,572	45,778
純資産合計	3,960,393	4,632,790
負債純資産合計	15,606,977	16,453,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	12,045,138	15,568,715
売上原価	10,071,129	12,484,053
売上総利益	1,974,008	3,084,661
販売費及び一般管理費	1,926,302	2,287,829
営業利益	47,706	796,831
営業外収益		
受取利息	388	548
受取配当金	9,694	9,894
仕入割引	35,774	32,303
その他	11,799	22,816
営業外収益合計	57,656	65,563
営業外費用		
支払利息	8,974	9,417
為替差損	4,255	10,527
その他	6,704	11,885
営業外費用合計	19,934	31,831
経常利益	85,428	830,563
特別損失		
固定資産除売却損	2,859	962
投資有価証券評価損	—	414
事務所移転費用	—	1,004
特別損失合計	2,859	2,381
税金等調整前四半期純利益	82,568	828,182
法人税、住民税及び事業税	14,098	143,990
法人税等調整額	5,762	6,002
法人税等合計	19,861	149,992
四半期純利益	62,706	678,189
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△466	4,205
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,173	673,983

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	62,706	678,189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47,603	65,011
為替換算調整勘定	△29,183	△31,287
退職給付に係る調整額	7,108	△4,743
その他の包括利益合計	△69,678	28,980
四半期包括利益	△6,972	707,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,248	702,964
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,724	4,205

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	メディカル事業	コンシューマ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,700,753	8,344,385	12,045,138	—	12,045,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,700,753	8,344,385	12,045,138	—	12,045,138
セグメント利益	53,379	248,276	301,655	△216,227	85,428

(注) 1. セグメント利益の調整額△216,227千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	メディカル事業	コンシューマ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,055,986	10,512,729	15,568,715	—	15,568,715
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,055,986	10,512,729	15,568,715	—	15,568,715
セグメント利益	585,833	471,288	1,057,121	△226,558	830,563

(注) 1. セグメント利益の調整額△226,558千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来、「医療用品等製造事業」及び「医療・育児用品等卸売事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、2020年7月1日の組織変更を受け、当第2四半期連結会計期間より、主に医療機関向けの販売事業である「メディカル事業」、主に一般消費者向けの販売事業である「コンシューマ事業」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。